学校だより

平成19年度

12月

京都市立桃陽総合支援学校

おいしかった野外炊事

本校小学部

小学部のみんなは，二年生から六年生まで十五名参加しました。事前に五・六年グループと二から四年グループに分かれて，班長，副班長，かまど係，炊き込みごはん係，ぶた汁係とそれぞれ係りを決めました。

「まなびの森」に野外炊事に必要な道具をみんなで運びました。今年のメニューは，炊き込みご飯とぶた汁そしてフルーツはみかんとぶどうです。かまど係の人は火をおこしてなべをかけたり，ご飯係りはお米を水で溶き，炊き込みご飯用の食材をこまかくきりました。ぶた汁係は具のごぼう，にんじん，大根，ぶた肉などを丁寧に切っていました。各班のみんなは協力しながら各自の仕事をしっかり最後までやりきりました。特に，炊き込みご飯の水加減には注意していました。

さぁ！出来上がり。テーブルをセットしてみんなで配膳し，炊き込みご飯とぶた汁をいただきました。自分たちで作った炊き込みご飯やぶた汁は格別でとてもおいしく満足していました。とても楽しい野外炊事でした

本校中学部

十一月十三日に野外炊事が実施されました。

中学部では、学年縦割りでグループを編成しました。事前に生徒たちで、どのように班分けするか話し合われました。気の合う友達と一緒になりたがるのでは…と、少し心配しましたが、学校に来にくい友達、新しく入学してくる予定の友達のことも考えながら、話し合いが行われていました。

当日の活動以外にも、事前に倉庫から道具を出して、数の確認と洗浄、事後も乾燥したお皿などを元に戻す収納作業がありますが、みんなで協力しながら活動していました。当日は、(具無し炊き込みご飯や、お焦げだらけご飯) にもならずに、今年はどのグループも協力して、おいしいものができあがり" 大満足" でした。

みんなで力を合わせて作ったよ

訪問教育

朝晩すっかり寒くなり、桃陽の木々も色鮮やかに紅葉しています。

ただいま小学部十人、中学部六人です。

十一月十三日に毎年恒例の野外炊事が行われました。

病院や自宅から今年は、小学部三人、中学部三人の子ども達が参加してくれました。

　早くから参加してくれた三人の子ども達は、プール前に集合し、全体の話が終わった後、たくさんの道具を中庭へ運んでくれました。今年は、中庭で火をおこし、大きなおかまと大きなおなべで炊き込みご飯とぶた汁を作りました。
　参加してくれた一人ひとりの子ども達は、事前にかまど係、炊き込みご飯係、ぶた汁係の中からやってみたい仕事を選びました。そして、「ぼくは、大根と豚肉と厚揚げを切るよ」「私は、ごぼうのささがきとねぎのみじん切りと・・・」というように活動を細かく分担しました。
中庭で。作業をする台を準備する人、かまどに使う木切れを準備する、お米を洗う人、というようにそれぞれの活動が始まりました。全体の流れやひとり一人の活動の流れがわかりやすいように文や図でかいたものを準備し、見やすいところに貼ったり置いたりしました。材料を切ることを楽しみにしていた子ども達も安全に気をつけながら、一つ一つの材料を丁寧に切っていきました。鶏肉や豚肉は、難しいようで「なかなか切れない」といいながらも切り方を工夫し、自分の役割を最後までしっかりやり遂げていました。
　かまど係の子ども達も木切れを上手に選び、火の勢いを調節してくれていました。
　材料が切り終えた頃ようやく火の状態も落ち着き、じっくり炊き上げることができました。
　炊き込みご飯は、うっすらとおこげができ、子ども達は、大喜びでした。ぶた汁もおいしく出来上がり、みんなで力を合わせて作った喜びを味わいながら、おはしを口に運んでいました。一人ひとりが満足感に満ち溢れ、とても頼もしく感じたひと時でした。
　普段は、自宅や病院で訪問担当の先生と学習している子ども達が、学習発表会につづき、みんなと力を合わせて作り上げる素敵な経験ができた一日でした。

緊張・楽しさ・驚き

府医大病院分教室

　十一月八日（木）にALTのケンさんとの英語の授業がありました。小学生は十月三十一日にあったハロウィーンについて教えてもらいました。ケンさんが動かす魔女やゴーストのペープサートを見ながらみんなでかけ声を言ったり、歌やハッピーハロウィンじゃんけんをしました。始め緊張していたお友達も最後は楽しそうにしていました。またケンさんと英語で会話をしたお友達もいてとても良い経験ができたと思います。中学生はケンさんの故郷オーストラリアについてクイズ形式で学びました。「オーストラリアは日本の二十倍です。」に、みんな驚いていました。
　二十日（火）は『リコ♡リコ』さんによるリコーダー五重奏の音楽会がありました。普段見慣れているソプラノリコーダーから一メートル近くあるバスリコーダーまで、それぞれの音色が重なり奏でる音楽はとても素敵でした。
　教室に出られないお友達は、ベッドサイドでの学習を頑張っています。

なかなか，秋も大忙し！！

京大分教室

学習発表会も無事終わり，ほっとしたのもつかの間，京大分教室では，今度は京大での「秋のつどい」(十一月二十九日)の準備で大忙し。小学部の低学年は「おむすびころりん」のお話を，高学年はそれぞれが調べ学習をしたものを発表します。中学生もパソコンや本でいろいろな不思議，「トリビア」を調べ，発表準備をしています。また，小中合同で合奏「君をのせて」も演奏します。休み時間には，いつもキーボードの前に座っては練習しているAさん，外泊のときに家で練習しているBさん，秋のつどいに出られるように体調管理をしようとしているCくんなど，治療や体調の加減でなかなか全員がそろうことができない中での取り組みなので，少しずつの準備ですが，みんな自分のペースで頑張っています。

また，そんな中，ALTの先生が来て下さり，楽しい英語の授業をしてくださいました。小学部ではハローウィンの時期ということもあり，「Trick or treat!!」(子供がお菓子をねだりながら家々を回るときにいう言葉) の掛け声とともに、ペープサートの人形を使ってお話してくださいました。その後、自分たちの人形を楽しく作りました。中学部ではアタック二十五のクイズ形式でいろいろな動詞を使った英文を作ってエキサイトしました。忙しい中の楽しい一日でした。

クリスマスリース作り

二赤分教室

小学校一年生は今の時期、生活科でクリスマスリース作りをするところが多いようです。夏に世話したあさがおの長いつるを利用したものが一般的です。

二赤分教室の一年生は病院の中で、折り紙を使ってリース作りをすることにしました。赤と緑の折り紙でまわりを作ります。その後ベルやサンタクロース・くつしたの飾りをつけました。金色を使って少しキラキラさせました。思ったよりずっとかわいらしいリースができました。出来上がりに満足した一年生の子どもは、「くつしたもつけたし、クリスマスに家にかざったらサンタさんがきてくれるかな。」と退院を予想したことを言いました。再入院したいきさつがあるので、今度こそとじっと我慢していたこの子どもにも希望がもてたからでしょう。

「次は、くすだまをつくるねん。病気が治りますようにて　お願いをするんや。」根気のいるユニット折り紙をこの小さな一年生は見事に仕上げました。

ALT の先生を迎えて

国立病院分教室

国立分教室に ALT の先生が来てくださり、楽しい英語学習ができました。一時間目は中学部の三人が授業を受けました。最初は英語での先生の自己紹介を聞きま

した。
　その後、楽しい英会話を取り入れたゲームをしました。少し恥ずかしがりながら、英語を発音していました。二時間目は小学部の二人がハロウィンにちなんだ英単語を学習しました。その後、ハロウィンのカードを作りました。ユニークなカードができました。

ストーリーテリング

　ストーリーテリングとは日本や外国の民話や童話を語るというお話のプレゼントです。国立病院分教室に毎月一回、地域にお住まいの鈴木先生が来てくださり、お話しをしてくださいます。中学部の大久保君も先生の話をよく聞いています。小学生もとても楽しみにしています。手遊びの入った歌や詩の朗読は特に楽しみです。この写真はストーリーテリングの様子です。たんぽぽの綿毛をどこへ飛ばそうかとそれぞれが考えて飛ばす手遊びです。

十二月は人権月間です。

　すべての人が共に支えあいながら心豊かに過ごせる社会をめざしましょう。

「うれしかったよ一緒に遊べて」

「大丈夫？元気がでたよありがとう」

12 月予定

日	曜日	本校・訪問教育	桃陽病院	分教室（国立・京大・医大・二赤）
18	火	進路懇談会（中３）		集会（二赤）
19	水	個人懇談会		個人懇談会
20	木	個人懇談会		個人懇談会
21	金	授業終了		授業終了
22	土		外泊日	
23	日	天皇誕生日	↓	天皇誕生日
24	月	振替休日	↓	振替休日
25	火	冬季休業		冬季休業

1 月予定

日	曜日	本校・訪問教育	桃陽病院	分教室（国立・京大・医大・二赤）
7	月	授業再開（午前中授業）朝会		
8	火	支部京都タイム（小学部）	保護者面談日	集会（医大）
9	水	児童生徒会運営委員会		書き初め（二赤）課外学習
10	木			
11	金			
12	土		外泊日	
13	日		↓	
14	月	成人の日	↓	
15	火			集会（国立）
16	水	児童生徒会運営委員会		課外学習